

【課題】富山県の農業経営体数は減少している中、2020年農林業センサスでは後継者がいないとする経営体は65%を占めた。また、令和5年8月に実施した県の経営耕地面積の4割を占める集落営農組織を対象にしたアンケートでは、42.3%が「現在、労働力が不足している」、75%が「5年後の労働確保が不安」と回答。本県農業の維持・発展には、①長期的な常時従事者及び後継者の確保、②農繁期の一時的な労働力確保を同時に取り組む必要がある。

【取組の概要】

令和6年11月から地域課題をデジタルソリューションで解決するDigi-Poc TOYAMA(デジポックとやま)の実証試験に取り組み、農業に興味をもつ人との接点を創出し、短期的な就業をきっかけに将来の農業人材確保を目的に、県独自の農業専門求人サービス「富山めぐりマッチボックス」を構築した。令和7年度より本格運営を開始し、現下の人手不足解消だけでなく、スポットワークを契機として、将来の担い手確保を目指し、システムの認知普及に取り組んでいる。

実施主体の構成員

富山県(事務局)

協力機関・連携先等

株式会社Matchbox Technologies(委託先)

公益社団法人富山県農林水産公社

地域担い手育成総合支援協議会

設定した成果目標・目標に対する進捗状況

項目	現状値 (R7年2月末)	実績 (R7年度)	目標年度 (R8年度)
① 長期雇用 移行者	1名	24名	10名
② 充足率*	56% (229件/408件)	66.5% (1836件/2757件)	70%

※充足率:採用件数/求人件数とした

今年度の取組み内容

ア 労働力の需給状況の把握(地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等)

【アンケート調査】年間3回実施

- ・対象者:「富山めぐりマッチボックス」登録経営体、登録求職者
- ・調査時期:「富山めぐりマッチボックス」説明会時、事例共有会時、令和7年度末
- ・回答内容:

①「富山めぐりマッチボックス」は、県内の労働力確保にとって必要な取組であるかという問いには、「とてもそう思う」87.5%、「そう思う」12.5%の回答があった。

②登録農業経営体での長期雇用への移行については、24名が長期雇用※に繋がったと回答があった。※長期雇用とは、富山めぐりマッチボックスの継続雇用を含まない

今年度の取組み内容

イ 産地内での労働力確保・育成

<農業経営体向けの活動>

【説明会】「富山めぐりマッチボックス」の求人掲載経営体の増加が目的

①説明会 令和7年6月(富山市、高岡市、砺波市、黒部市)

パソコンを準備して実際の操作を説明。参加法人数:40法人

②説明会 令和8年2月(入善町、氷見市、富山市、南砺市)

実際の登録方法を短い動画にして紹介し、簡易的に登録できることをPR。参加法人数:40法人

③その他研修会等での説明

【事例共有会】「富山めぐりマッチボックス」のさらなる認知普及かつ活用促進が目的

令和8年1月(富山市)

活用経営体による好事例発表や、グループディスカッションによる今後の施策改善の検討。

参加法人数:31法人



<求職者向けの活動>

【web広告】県公式LINE及び公式Xでの掲載、各市町村公式SNSでの掲載、地域を特定したweb広告を実施

【オフライン広報】・ポスター約200枚及びチラシ約1850枚を作成・配布

・配布先:各市町村の役所、JA、県内農業高校、県包括連携企業・施設等

【求職者セミナー】令和7年5月、7月

求職活動中の者や、育児・介護等の柔軟な働き方を求める者に対して、

「富山めぐりマッチボックス」のオンライン説明会を実施

【イベント出展】とやまグルメ・フードフェス※(令和7年10月25日、26日)にブースを出展

消費者を含め認知普及を促進 ※2日間で2万人が来場する大型イベント

【食ベトクとやまアプリ※連携】「食ベトクとやま」アプリと連携しバナー掲載を実施

※富山県が実施する「富山県産品購入ポイント制度」のデジタル応募を可能にするためのアプリ



魚津市HP該当箇所はこちら

今年度の取組み内容

ウ 他産地・他産業との連携による労働力確保

該当なし。

エ 労働力等のマッチング及びデータベース化

【農業専門求人サービスを活用した農業者と求職者のマッチングサポート】

「富山めぐりマッチボックス」運営事務局の(株)Matchbox Technologiesによる農業者や求職者などサービス利用者等に対する運用サポートを実施。

→「富山めぐりマッチボックス」活用希望経営体に対して、オンラインミーティングにより、業務の切り出し支援、求人原稿作成、操作説明を実施。

【登録者情報のデータベース化と分析】

県内の労働力を募集する農業者を把握するとともに、マッチング実績(求人時期、品目や作業内容など)や地域情報等を関連付けて整理し、課題と対策の検討に資するものとした。

また、週1回の進捗会議を開催し、登録者情報等のデータベースを基に分析、施策方針を修正しつつ実施。



オ 農業の「働き方改革」への取組

【農業者向け説明会における啓発】

上記の説明会において、応募が集まりやすい工夫、掲載や採用に際しての注意点、短時間人材の雇用における労務管理や農作業安全対策など「働き方改革」に関する情報を提供した。

本事業取組みにおける成果項目

●「富山めぐりマッチボックス」活用実績 (R6/11/1～R8/1/31)

- ・求人掲載件数 : 2,696件
- ・応募件数 : 2,333件 ⇒ 応募率86.5%
- ・採用件数 : 1,784件 ⇒ マッチング率76.5%
- ・求人掲載活用事業者数 : 45社
- ・求職登録者数 : 871人 (女性544人、男性327人)
- ・応募者実人数 : 283人 (女性149人、男性134人)
- ・採用実人数 : 233人 (女性130人、男性103人)

●長期の直接雇用につながった件数 : 5社24名

次年度以降の取組み内容

【PR動画の作成】

- ・令和9年度の自走に向けて農業経営体及び求職者の認知普及を促進するためPR動画を作成

【広報用ののぼり作成・掲示】

- ・各イベントや市内各施設にのぼりを設置。

【ポスター・チラシの配布】

- ・未掲載の県内施設での掲載を打診(大学、病院、スーパー等)

[参考] 求職者向けポスター

